

DTMプログラムモード設定方法

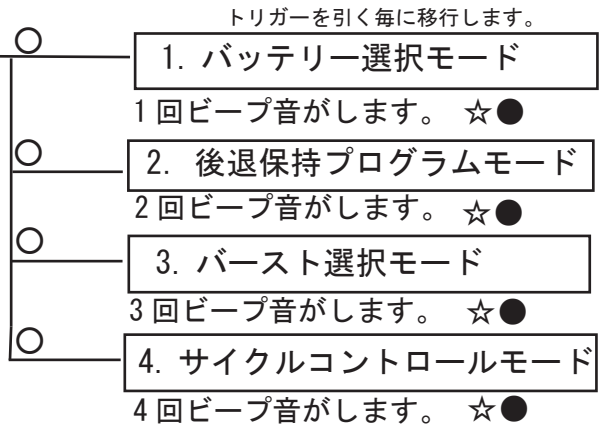
トリガーを引く○印 ビープ音で離す●印 トリガー長引き☆印

設定モード開始
 セレクターをセミにしてトリガーを引いた状態でバッテリーを接続して下さい。設定モードの開始です。

最初に3回ビープ音がします。
 各モード設定後、再度設定モードから設定してください。

注 1. 2. 3. 4. の順でビープ音がループします。

☆各設定はビープ音時にトリガー長引き



1. バッテリー選択モード

初期設定は 7.4v モード
 次世代機は 7.4v でご使用下さい

7.4v モード
 ビープ音 1回 ☆●

11.1v モード
 ビープ音 2回 ☆●

トリガーを引く毎に移行します。決定で長引き

☆各設定はビープ音時にトリガー長引き、さらにビープ音で終了バッテリーを外して下さい。

バッテリー選択モード
 一番最初に設定して頂くモードです。この設定を行うことで最適化したプログラムが設定されます。

2. 後退保持プログラムモード

ビープ音が 1回～8回までの間で
 設定します。



トリガーを引く毎に移行します。決定で長引き

☆各設定はビープ音時にトリガー長引き、さらにビープ音で終了バッテリーを外して下さい。

注1・後退保持によりトリガーレスポンスを上げることが出来ますが、上げすぎると1トリガーで2度撃ちとなります。

次世代機は特に後退保持の位置には注意してください。ピストンの破損につながります。

注2・後退保持位置はバッテリー状態で変わる場合があります。またカスタム等でモーターやスプリングのセッティング後には必ず再設定してください。破損につながります。

後退保持プログラムモード
 射撃時にピストンの停止位置を任意で設定できるモードです。実銃の様にシアーの切れる感覚を8段階で設定できます。出荷時はLv1 前進状態でレベルを上げると後退します。

3. バースト設定モード

ビープ音が 1回～8回までの間で
 設定します。



トリガーを引く毎に移行します。決定で長引き

☆各設定はビープ音時にトリガー長引き、さらにビープ音で終了バッテリーを外して下さい。

バースト選択モード
 発射数と3点バーストをコントロールするモードです。1～8まで設定できます。これはカスタムやバッテリーの出力により3点バーストが不安定に成る症状を設定で解消するモードです。

4. サイクルコントロールモード

トリガーを引く毎に移行します。決定で長引き

Very Low
 ビープ音 1回 ☆●

Low
 ビープ音 2回 ☆●

Neutral
 ビープ音 3回 ☆●

OFF
 ビープ音 4回 ☆●

☆各設定はビープ音時にトリガー長引き、さらにビープ音で終了バッテリーを外して下さい。

サイクルコントロール
 フルオート射撃時の発射サイクルを4段階で調整できます。出荷時はVery Low 上げる毎にサイクルは上がります。この設定でセミ時のトリガーレスポンスはOFF時と変わりません。